

令和7年度高齢者ニーズ調査・介護保険実態調査(事業者編) 設問(案)

No.	区分		調査項目	選択肢・回答方法案(抜粋)	
	新規	継続			
1		☐	事業所の概要について	法人形態	社会福法人、医療法人など選択肢を用意
2		☐		法人における介護保険サービスの事業所数	事業所数の選択肢を用意(1、2～4など)
3		☐		事業所のサービス種別	1つだけ記入させる
4		☐		併設サービス	各サービスを列記し、複数選択可とする
5		☐		事業所開設から現在までの実年数	1年未満、1年～5年未満、等5年刻みと20年以上
6		☐		勤務形態別・年齢別従業員数	職種ごとに10代20代、30代～70代の10年刻みで記入
7		☐		その他、上記以外の職種の従業員数	人数と常勤、非常勤の別を記入
8		☐		従業員の在籍年数	1年未満、1年～3年未満、3年～10年未満、10年以上
9		☐	人材確保・育成・定着支援	従業員の採用状況及び離職者数	常勤・非常勤別の新卒採用者、未経験者、経験者及び離職者の数
10		☐		採用に効果的だった取り組み	ハローワーク求人、求人サイト掲載、人材紹介会社からの紹介 他
11		☐		離職した従業員の勤務年数	1年未満、1年～3年未満、3年～10年未満、10年以上
12	☐			離職率	6年度と5年度について算出に必要な数値(年度当初と年度末の職員数、離職者数)を回答してもらう
13		☐		離職の理由	家庭の事情、健康上の問題、職場の人間関係、ストレス 他
14		☐		人材確保の状況	職種別に該当職種無し、大いに不足、やや不足、不足、適当、過剰 他
15		☐		人材不足であると回答した理由	①事業を拡大したいが②サービスの利用希望や施設の入所希望があるが③職員の負担軽減や労働環境の改善を図りたいが人材不足で事業が拡大できないから
16		☐		人材不足の理由	給与が労働条件に見合わない、介護への理解・関心が低い、労働環境が整っていない、就活期の若者や中高年層を活用する方策がない、介護職への理解・関心が低い
17		☐		外国人人材の雇用	積極的に行っている、行う予定、具体的な取り組みは行っていない、予定はない、現時点では検討していない

令和7年度高齢者ニーズ調査・介護保険実態調査(事業者編) 設問(案)

No.	区分		調査項目	選択肢・回答方法案(抜粋)
	新規	継続		
18	○		外国人人材の育成について区に望むこと	国や都の支援制度の情報提供、外国人人材を対象とした交流会の実施、実技・実習型研修の実施、外国人に向けた介護の仕事の魅力発信、研修会場の確保
19	○			派遣職員の採用状況について
20	○			派遣職員を採用するに至った経緯について
21		○		人材確保のための取組みの実施状況と効果認識
22		○		人材育成のためにとっている方策
23		○		人材育成について区に望むこと
24		○	事業運営について	介護職員等処遇改善加算の算定状況
25		○		介護職員等処遇改善加算の算定にかかる課題
26		○		労働環境改善のために重要だと思う取組み
27		○		介護ロボットやICT機器の導入状況
28		○		事業所の令和7年9月のサービス利用者数
29		○		利用者数の変化(1年前との比較)
30	○			利用申込者の受け入れ状況
31	○			6年度と比較した7年度の事業所の経営状況
32	○			経営上の課題または問題点
33		○		事務所の運営の方向性
34		○		法人の運営の方向性
35		○		利用者の機能の維持、満足度の向上等のために特に重視している取組み

令和7年度高齢者ニーズ調査・介護保険実態調査(事業者編) 設問(案)

No.	区分		調査項目	選択肢・回答方法案(抜粋)
	新規	継続		
36		○		サービス提供における課題
37	○			スタッフの確保、スタッフの技術不足、特定の日時・曜日等に希望が集中等18項目から5つまで選択
38		○	家族介護者について	混合介護の実施状況
39		○		実施している、実施予定、検討中、予定なし、わからない
40		○	医療機関との連携について	介護者の抱える問題
41		○		仕事との両立、育児との両立、学業との両立、精神的な疲れ等12項目から3つまで選択
42		○		介護者に必要・有効な支援
43		○		緊急対応・ショートステイ等の充実、家族会や交流会等家族への支援等6項目から3つまで選択
44		○	医療機関との連携について	医療機関との連携状況
45		○		よく連携できている、おおむね連携できている、うまく連携できていない、どちらともいえない
46		○		医療機関との連携を行うための課題
47		○	その他	医師に連絡する時間帯がわからない、顔の見える関係がない、医療食の介護保険制度への理解、介護職の医療知識に関する理解、医療と介護の連携のイメージがない
48		○		定期的に医師による訪問診療を受けている利用者数
49		○		世田谷区の被保険者と区外の被保険者の人数を回答
50		○		地域交流・地域貢献
51		○		地域に施設・事業所を開放する、イベントに参加する、防災訓練・避難訓練に参加する等10項目からあてはまるものすべてを選択
52		○		ボランティアの受け入れ状況
53		○		受け入れている、現在は受け入れていないが今後受入予定、今後も受入予定なし
54		○		ボランティアにお願いしている内容
55		○		話し相手、レクリエーションの補助、イベントの補助等11項目からあてはまるものすべてを選択
56		○	利用者・家族から受けるハラスメント防止に関する事業所の取組み	法人または事業所でハラスメントに関する研修を開催している、相談窓口を設置している、ハラスメント予防等のマニュアルを作成している等10項目からあてはまるものすべてを選択
57		○		災害時等への対応としての事業者の取組み
58		○		災害対応マニュアル等を作成している、災害発生時の事業者の対応について利用者や家族に説明をしている、近隣住民と災害時の協力関係を築いている等12項目からあてはまるものすべてを選択
59		○		区に望むこと
60		○	(居宅介護支援事業所のみ) 区で特に不足していると思う介護保険サービス	法改正に関する情報提供、介護保険以外の区の保健福祉施策に関する情報提供、被保険者や利用者への介護保険制度の趣旨普及等13項目から3つまで選択
61	○			各サービスを列記し、複数選択可とする
62		○	自由意見	自由記載